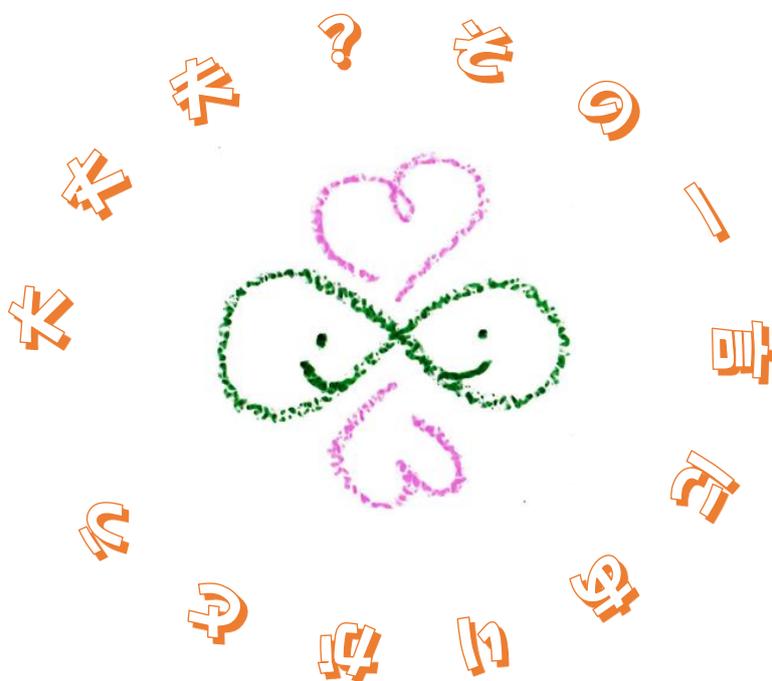


平成26年度

事業報告書



おわせ社協ロゴマーク
“わごころ”

社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

平成26年度

尾鷲市社会福祉協議会

理 念

尾鷲市のだれもが安心して生活できるまちづくりを
すすめていく

職員心得

- 笑顔であいさつ
- 責任ある行動
- 思いやりを持って接する

目次

I. 企画調整部門

1. 総務係..... 1
2. 地域福祉係..... 7

II. 総合相談・支援部門

1. 地域包括支援センター..... 19
2. 紀北地域障がい者総合相談支援センター..... 26

III. 介護サービス部門

1. 居宅介護支援事業所..... 34
2. 訪問介護事業所..... 36
3. 訪問入浴事業所..... 40
4. 輪内通所介護事業所..... 41
5. 尾鷲通所介護事業所..... 43

IV. 輪内高齢者サービスセンター

1. 輪内高齢者サービスセンター..... 45

I. 企画調整部門

1. 総務係

1. 会務の運営

適正な法人運営と事業の円滑な事業推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

(1) 理事会

臨時会 平成 26 年 4 月 1 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 11 名

- 会長、副会長の選任について
- 常務理事の指名について

第 1 回 平成 26 年 5 月 29 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 11 名

- 平成 25 年度事業報告書(案)について
- 平成 25 年度決算報告書(案)について
- 平成 26 年度第 1 回補正予算(案)について
- 評議員の一部改選(案)について

第 2 回 平成 26 年 10 月 23 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 9 名

- 平成 26 年度第 2 回補正予算(案)について
- 職員給与規程の一部改正（案）について
- 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部改正（案）について
- 経理規程の一部改正（案）について

第 3 回 平成 27 年 3 月 19 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 11 名

- 平成 27 年度事業計画書（案）について
- 平成 27 年度当初予算（案）について
- 平成 26 年度第 3 回補正予算（案）について
- 職員給与規程の一部改正（案）について
- 評議員の一部改選(案)について
- 苦情解決第三者委員の委嘱について

(2) 評議員会

第 1 回 平成 26 年 5 月 29 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 26 名

- 平成 25 年度事業報告書(案)について
- 平成 25 年度決算報告書(案)について

- 平成 26 年度第 1 回補正予算(案)について

第 2 回 平成 25 年 10 月 23 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 25 名

- 平成 26 年度第 2 回補正予算(案)について
- 職員給与規程の一部改正（案）について
- 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部改正（案）について
- 経理規程の一部改正（案）について

第 3 回 平成 27 年 3 月 24 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 25 名

- 平成 27 年度事業計画書(案)について
- 平成 27 年度当初予算(案)について
- 平成 26 年度第 3 回補正予算(案)について
- 職員給与規程の一部改正（案）について

(3) 監事監査

- ① 平成 26 年 5 月 12.14 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 25 年度 1 月~3 月 定期会計監査
平成 25 年度の事業及び決算についての監査
- ② 平成 26 年 9 月 11 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 26 年度 4 月~6 月 定期会計監査
- ③ 平成 26 年 12 月 3 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 26 年度 7 月~9 月 定期会計監査

(4) その他の監査

- ① 平成 26 年 5 月 9 日 財政援助団体等監査(尾鷲市監査事務局)

2. 事務局体制の強化

(1) 職員体制の配置

- 採用者数 嘱託職員 2 名、日額職員 1 名
- 登用者数 嘱託職員 3 名、

平成 27 年度事業強化に備え、採用試験および登用試験を行った。

- 採用者数 正規職員 1 名、嘱託職員 4 名
 - 登用者数 正規職員 2 名、嘱託職員 5 名
(参考:平成 26 年度退職者 嘱託 4 名、日額 1 名)
- ・適正な人事異動の実施

(2) 福祉関係資格取得の奨励及び各種研修会への参加

① 資格取得の状況(新規)

社会福祉士 1名、居宅介護支援専門員 1名、介護福祉士 3名

② 研修会への参加と開催

県社協の実施する役職員セミナーや専門、職種別研修会に積極的に参加した。社会福祉従事者としての自覚、使命感を育て問題解決能力を養うための自己啓発の促進として、下記の経験や役職に応じた体系的な研修に参加した。

- 指導的職員研修 I 2名
- ” II 1名
- 中堅職員研修 I 1名
- ” II 2名
- ” III 2名

(3) 活動基盤の改善・充実

① 職員給与規程の改正

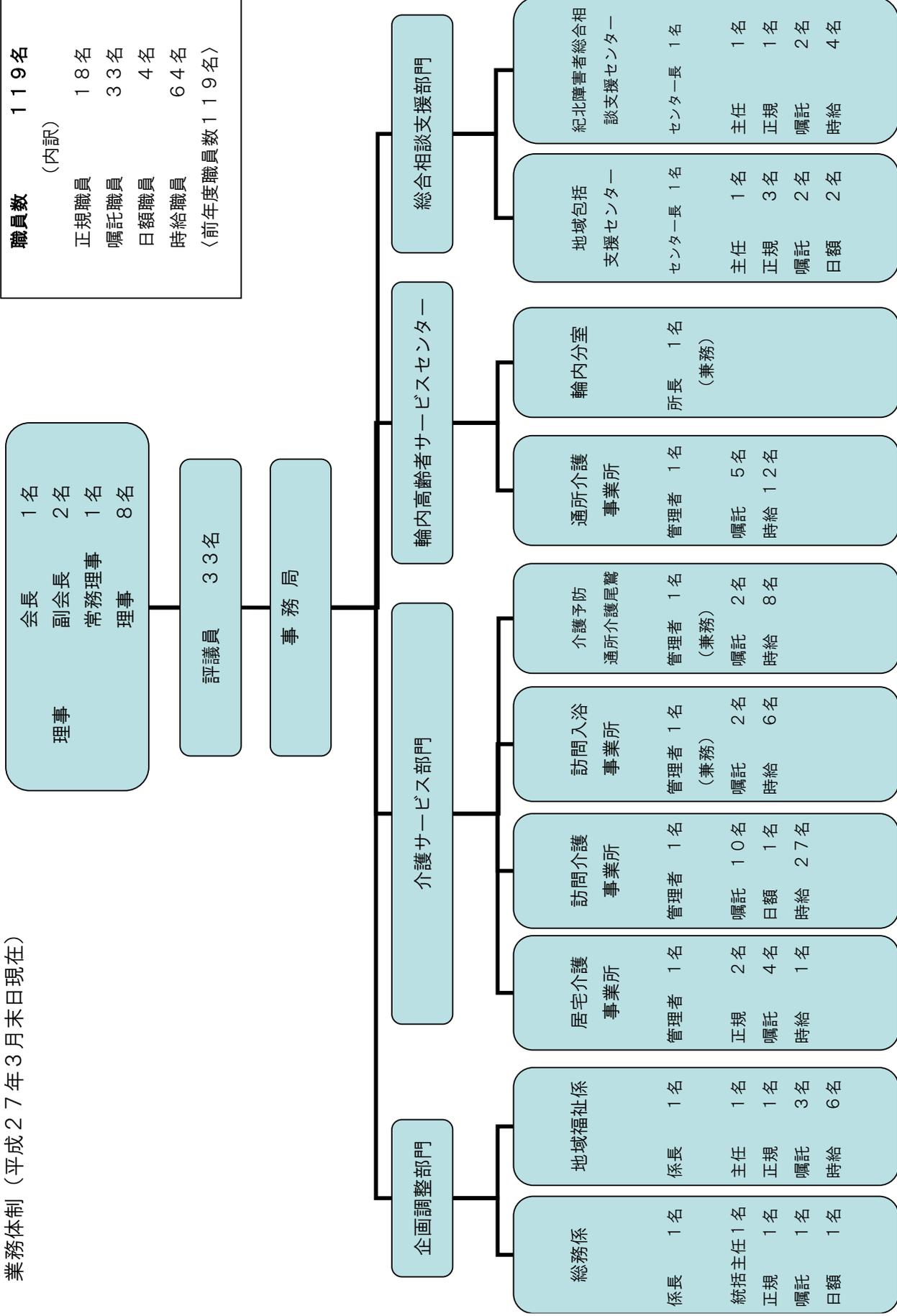
② 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部変更

③ 日額・時給等職員の雇用等に関する就業規則の一部変更

④ 経理規程の変更

平成26年度 尾鷲市社会福祉協議会
業務体制（平成27年3月末日現在）

職員数	119名
(内訳)	
正規職員	18名
嘱託職員	33名
日額職員	4名
時給職員	64名
〈前年度職員数119名〉	



3. 災害時における避難者安全確保体制

(1) 避難所開設

福祉保健センターを台風による避難所として開設し、社協職員で対応した。

日時：平成26年7月10日	台風8号	避難者:1名
日時：平成26年8月9日	台11風号	避難者:9名
日時：平成26年10月5、6日	台風18号	避難者:9名
日時：平成26年10月13日	台風19号	避難者:13名

(2) 避難防火訓練の実施

日時：平成26年7月17日
平成27年1月23日

内容：避難誘導訓練、通報訓練、初期消火訓練



4. 地域福祉財源の確保

(1) 補助事業・委託事業などの公的助成の確保

(2) 自主財源の確保

① 善意銀行の運営

市民の善意により、現金物品が寄贈された。

【現金】	一般預託	17件	580,000円
	指定預託	3件	250,000円
	合計	20件	830,000円

※前年度合計 33件 2,382,112円

【物品】 液晶テレビ 一式

5. 福祉団体活動支援

(1) 老人クラブ活動の推進と支援

老人の健康、生きがいなどの福祉の向上を図るとともに 社会奉仕活動への積極的な参加促進を支援した。

① 老人クラブ 連合会活動の支援

29クラブ・会員数 1,494名

② 老人の社会奉仕活動への参加促進の支援

③ 高齢者友愛訪問活動への支援

④ 尾鷲市福祉保健センターを活用した各種講座の開催

年度	講座数	延べ参加人数
平成24年度	10講座	3,472名
平成25年度	10講座	3,699名
平成26年度	10講座	3,440名

(2) 遺族会の支援

遺族会活動の支援と尾鷲市戦没者追悼式を共催した。

尾鷲市戦没者追悼式 尾鷲市との共催

日 時：平成26年6月1日

場 所：尾鷲市民文化会館

参加者：250名

6. 苦情解決事業の推進

苦情解決体制の一層の充実を図り、第三者委員をはじめ地域住民からの苦情の汲み上げるとともに、苦情に対する職員の意識を高め、サービスの質の向上に取り組んだ。

(1) 苦情解決体制の構築

苦情解決責任者の設置 事務局長

苦情受付担当者の設置 総務係長

第三者委員の設置 3名委嘱

(2) 苦情内容・苦情総数

苦情の内容	単位・件	
	平成26年度	前年度
々の内容に関わる事項	0	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0
財産管理・遺産・遺言等	0	0
制度・施策に関わる事項	0	0
その他(職員の言動・交通マナー)	0	0
本会以外への苦情等	0	0
合 計	0	0

7. 尾鷲市福祉保健センターの管理運営

(1) 利用促進と効果的な運営

福祉・保健活動の拠点として研修会や交流、市民の社会参加の場として市民が利用しやすい環境を整備し、管理運営を適切に行った。

2. 地域福祉係

1. 小地域福祉活動事業

(1) 地区福祉委員会の活動支援

① 代表者懇談会の開催

地区福祉委員会が抱える問題の共通理解と早期解決を目的に代表者による懇談会を開催した。

開催日：平成 26 年 7 月 9 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：活動予定について、意見交換

ワークショップ～地域の課題を見つめよう～

参加者：12 名

② 地区福祉委員会現況調査の実施

市内 17 地区の福祉委員会を巡回し、現在の取り組み状況や委員会としての課題、今後の展望などについて情報収集を行った。

③ 研修会の開催

地区福祉委員の資質向上と今後の活動に対する動機づけ、地域の高齢者生活における福祉ニーズの整理を目的に研修会を開催した。

(ア) 三木里会場

開催日：平成 27 年 2 月 23 日

場 所：三木里コミュニティセンター

内 容：「みんなで支える地域包括ケア」

講 師：尾鷲市地域包括支援センター

松島貴美・小倉あずさ

参加者：23 名



(イ) 栄町会場

開催日：平成 27 年 3 月 5 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：「みんなで支える地域包括ケア」

講 師：尾鷲市地域包括支援センター

松島貴美・東地正幸

参加者：42 名



④ 活動助成金の交付

(ア) 基本助成（2万円）および活動助成（前年度に募集した地区の賛助会費の50%）を助成

(イ) 事業助成（あったかふれあい訪問活動・高齢者ふれあいサロン・世代間交流事業）の実施による助成



（あったかふれあい訪問）



（ふれあいサロン）

地区福祉委員会等活動実績

単位：回・人

地区福祉委員会	ふれあい訪問		ふれあいサロン		世代間交流	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
三木浦	5	750	5	184	3	249
賀田	1	68	—	—	—	—
矢浜	2	347	—	—	—	—
倉ノ谷	2	141	2	64	1	39
中村町	3	233	—	—	—	—
三木里	3	260	—	—	—	—
古江	3	336	1	48	—	—
梶賀	4	180	1	40	—	—
坂場	4	323	—	—	—	—
曾根	3	153	1	52	—	—
九鬼	—	—	2	135	—	—
宮ノ上・座ノ下	1	65	4	113	3	73
泉	2	73	1	18	—	—
早田	5	274	3	48	—	—
須賀利	2	177	—	—	1	37
野地町	2	70	2	40	—	—
新田	3	229	—	—	—	—
【未結成地区】						
北浦町	2	185	—	—	—	—

中井町	2	76	—	—	—	—
港町	2	90	—	—	—	—
中川	1	101	—	—	—	—
平成 26年度	訪問	21 地区	のべ 54 回	のべ 4,221 名		
	サロン	10 地区	のべ 22 回	のべ 742 名		
	世代間	4 地区	のべ 8 回	のべ 398 名		
前年度	訪問	21 地区	のべ 54 回	のべ 4,463 名		
	サロン	10 地区	のべ 17 回	のべ 614 名		
	世代間	4 地区	のべ 6 回	のべ 389 名		

(2) 交流会の開催

松阪市神戸・徳和地区民生委員児童委員協議会から三木浦地区福祉委員会との交流会の依頼があり、三木浦地区福祉委員会と協働して交流会を開催した。

開催日：平成 26 年 10 月 15 日

場 所：三木浦コミュニティセンター

参加者：36 名（神戸徳和地区民生委員児童委員、三木浦地区福祉委員会）



（活動発表（大西会長））



（三木浦子ども太鼓の披露）

(3) 住民座談会の開催

平成 24 年度から継続して民生委員児童委員、自治会長等住民が集まり座談会を実施した。光ヶ丘地区の住民が地域で繋がり、支え合う仕組みづくりとして住民主体のイベント「パパママあんしん講習会」を開催した。

【第 1 回座談会】 平成 26 年 5 月 27 日 参加者 11 名

【第 2 回座談会】 平成 26 年 7 月 4 日 参加者 11 名

【第 3 回座談会】 平成 26 年 7 月 14 日 参加者 11 名

場 所：光ヶ丘セミナーハウス

【パパ・ママあんしん講習会】

開催日：平成26年7月21日
 場 所：光ヶ丘セミナーハウス
 講 師：日本赤十字社三重県支部
 救急法指導員
 参加者：光ヶ丘住民 100名
 内 容：幼児救急講習会、日赤車両
 災害パネル展示・制服体験・
 かき氷無料配布・音楽演奏



(4) 住民研修会の開催（タッピング・タッチ講習会）

地域生活支援構築モデル推進事業（三重県社会福祉協議会助成事業）の助成事業として、地域支え合いのきっかけ作りとしてタッピングタッチ講座を開催した。講座ではタッピングタッチを体験、その効果を伝えるとともに、参加者の活動でのニーズを発見する機会となった。

開催日：第1回 平成26年9月5日

第2回 平成26年9月19日

参加者：27名（民生委員児童委員、地区福祉委員、デイサービス職員ほか）

(5) おしゃべりほのぼのサロン事業の実施

サロンでの交流・体操・レクレーションを通して、地域の高齢者の生きがいづくりと見守り支援に取り組んだ。

平成26年度実績

単位：人

地区 月	尾鷲 (第1週)	尾鷲 (第3週)	九鬼	早田	須賀利	合計
4月	5	6	10	5	7	33
5月	7	8	10	9	4	38
6月	6	5	6	9	6	32
7月	5	6	8	9	6	34
8月	—	—	—	—	—	—
9月	6	5	9	8	7	35
10月	9	5	9	9	6	38
11月	7	10	9	9	5	40
12月	6	5	9	—	7	27
1月	—	7	7	8	5	27
2月	7	4	9	8	5	33
3月	12	10	9	6	5	42
のべ人数	70	71	95	80	63	379

2. 赤い羽根共同募金運動の推進『じぶんの町を良くするしくみ』づくり

(1) 募金運動の実施

民生委員児童委員、自治会、婦人会など多くの関係者の協力を得て募金活動を実施した。

① 一般募金運動（強化月間：平成26年10月1日より2ヵ月間）

募金実績

単位：円

	平成年26度	前年度	前年比較
目標額	3,381,800	3,514,000	▲132,200
実績額	3,253,396	3,375,422	▲122,026
達成率	96.2%	96.05%	0.15%

募金種別による内訳

単位：円・件

	平成26年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
戸別募金	2,139,377	4,582	2,184,427	4,717	▲45,050	▲135
法人募金	710,000	115	713,000	117	▲3,000	▲2
街頭募金	72,963	5	65,574	1	7,389	4
学校募金	39,517	5	124,217	7	▲84,700	▲2
職域募金	134,891	18	107,000	14	▲27,891	▲4
イベント募金	73,425	7	60,745	6	12,680	1
ハートフルベソダー	10,783	1	12,856	1	▲2,073	0
募金箱・その他	72,440	64	107,603	17	▲35,163	47
合計	3,253,396	4,747	3,375,422	4,880	▲122,026	▲133

(2) 募金配分金による事業の充実

三重県共同募金会より、前年度に集められた共同募金の配分を受けて、下記の地域福祉事業を住民参加のもと実施した。（配分金額 2,600,699円）

① 高齢者福祉事業

- ・ ふれあいサロン・あったか訪問活動事業 870,645円
- ・ おしゃべりほのぼのサロン事業 15,693円
- ・ 友愛訪問活動助成事業（尾鷲市老人クラブ連合会） 203,000円

② 障がい者福祉事業

- ・ ふれあいスポレク祭事業 122,322円
- ・ 障がい団体研修助成事業（尾鷲市身体障がい者互助会） 50,000円

・ 障がいウィークエンドサークル事業	37,998 円
③ 児童福祉事業	
・ 福祉協力校助成事業	500,008 円
・ 子どもの日すこやか事業	165,044 円
・ 一人親家庭小学生卒業記念品贈呈事業	116,532 円
・ 福祉映画上映会・もちつき大会事業	82,036 円
・ 福祉作品コンクール事業	48,278 円
・ 子育て支援事業	49,227 円
・ おもちゃ図書館運営事業	5,980 円
④ 世代間交流・福祉啓発事業	
・ 世代間交流事業	183,936 円
・ 広報誌発行事業	150,000 円

3. 子育て支援事業

各関係機関との情報共有と協働を図り、地域の子育て世代の住みやすいまちづくりを目的に実施した

(1) 子育てグッズ「無料レンタル」事業

チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッドを貸出した。

新規貸出件数：54 件

(2) 子育てグッズ「リサイクル」事業

自宅で不要になった物品の仲介を行った。

リサイクル物品提供件数：12 件

(3) 児童交流室の自由開放と子育て情報の発信

子ども同士の交流とその親同士の仲間づくりのために、尾鷲市福祉保健センター3階児童交流室を自由開放し提供した。また、同センター1階ロビーにて絵本の貸出し、子供イベントなどの情報を発信した。

4. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンターの効果的な運営

① 市内ボランティア団体への情報提供

② コーディネーターによるボランティア相談支援

③ 安全な活動環境の支援として、ボランティア活動保険および行事用保険加入促進と保険料の一部助成

(ボランティア活動保険 加入件数 830 名)

(ボランティア行事用保険 延べ 46 団体、65 事業開催)

④ ボランティアグループへの助成実施

(1 団体 2 万円を上限として 14 団体に助成)

(2) 各種行事の開催と人材育成

子どもたちが心豊かに育つ一助となることを目的に、福祉映画上映会、子ども講座を開催した。地域住民との協働を意図し、個人ボランティアや中学校・高校生ボランティアとともに実施した。

① おわせ社協こども講座

開催日：平成 26 年 7 月 24 日

小学生 9 名 保護者 8 名

内 容：親子ゆかた着付け教室



② 子ども映画上映会の開催

開催日：平成 26 年 8 月 21 日

午前・午後の 2 回上映

参加者：午前 90 名、午後 84 名

内 容：映画「怪盗グルーのミニオン危機一髪」

ボランティアによる模擬店

ボランティア：45 名（高校生ボランティア）

③ 親子あそび・もちつき大会

開催日：平成 27 年 1 月 18 日

参加者：乳幼児・保護者 計 54 名

内 容：親子あそび・親子もちつき大会

ボランティア：17 名（中学生）



5. 福祉協力校事業の推進

(1) 福祉協力校の指定と助成

福祉協力校〈小学校 7 校、中学校 2 校、高校 1 校、特別支援学校 1 校〉を指定し、各学校の福祉教育の充実を図るために助成を行った。

（1 校 5 万円を上限とし、10 校に総額 50 万円を助成）

(2) 福祉協力校連絡会議の開催

各学校福祉教育担当者との情報交換を行った。

開催日：平成 26 年 6 月 10 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

参加者：10 名

(3) 福祉体験教室の開催

福祉体験教室の開催や教員への助言を行った。

内 容：福祉保健センター見学、車椅子体験、高齢者疑似体験、
視覚障がい者体験

実施校：尾鷲小学校、矢浜小学校、輪内中学校



(センター見学：UDデザイン)



(車椅子体験)

(4) 福祉作品コンクールの実施

福祉教育の一環として、小・中学校対象に福祉をテーマにした作文・標語・
絵画の作品を募集し、審査を行った。作品の審査には教員はじめ福祉関係者の
協力を得た。入賞作品を社会福祉大会にて表彰し、福祉の啓発を行った。

(5) 福祉教育への協力

各学校が行う、各種福祉関係行事への参加、募金や収集活動、地域交流など
の取り組みについて助言・調整などを行った。

6. 社協会員制度の推進

理事・評議員、民生委員児童委員、地区福祉委員会などとの連携により、当会
が行う、地域福祉活動への理解と参加を呼びかけ、賛助会費の募集を行い地域福
祉活動の財源確保に努めた。

(単位：円・件)

	平成 26 年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
賛助会員	1,429,568	1,325	1,560,000	1,436	▲130,432	▲111
特別会員	300,000	41	315,000	44	▲15,000	▲3
団体等	0	0	20,000	1	▲20,000	▲1
総数	1,729,568	1,366	1,895,000	1,481	▲165,432	▲115

7. 総合相談事業

「だれもが安心して生活できるまちづくり」の理念のもと、市民の困りごと相
談に各係で対応し、他関係機関との連絡調整を行った。

※高齢者・障がい者相談などは各係で実施集計

8. 貸付事業（自立更生のための福祉貸付事業）

(1) 生活福祉資金（実施主体：三重県社会福祉協議会）の貸付状況

- ① 平成 26 年度中の完済件数 1 件
教育支援資金 1 件
- ② 平成 26 年度中の新規契約件数 4 件
教育支援資金 3 件
福祉費（小規模改修） 1 件
- ③ 継続返済件数 11 件
教育支援費（就学支度資金を含む） 6 件
福祉費（障がい者自動車購入費） 1 件
（障がい者住宅改修費） 1 件
技能習得費 1 件
緊急小口資金 2 件

(2) 福祉金庫緊急一時貸付金の貸付状況

- ① 平成 26 年度中の完済件数 9 件（前年度 4 件）
- ② 平成 26 年度中の新規貸付数 11 件
- ③ 期限内返済中及び滞納者の状況

償還の状況	人数
返済中・滞納者数	25 名
定期的に返済している方	0 名
不定期であるが、返済をしている方	3 名
今年度全く返済実績のない方	22 名

9. 援護事業の実施

(1) 災害に対する援護事業

火災被災者への対応 1 件（支給金品：見舞金、毛布、日用品）

(2) 「子どもの日」すこやか事業（児童支援事業）

保育園・幼稚園児のすこやかな成長を願い、5月5日の子供の日に合わせて菓子をプレゼントした。対象児童 476 名（前年度 514 名）

(3) 「小学校卒業」記念品贈呈事業（母子父子支援事業）

一人親家庭小学校卒業生に対し、卒業記念品として図書券を贈呈した。

対象者 23 名（前年度 29 名）

10. 日本赤十字社事業および社資増強運動（日赤募金）への協力

(1) 社資増強運動（日赤募金）の実施

日赤奉仕団（尾鷲市連合婦人会）、自治会、各協力団体の協力を得て、募金運動を実施した。

募金実績（平成26年度5月1日より1ヵ月間実施）

	平成26年度	前年度	前年比較
目標額	3,016,000円	3,087,000円	▲71,000円
実績額	2,627,516円	2,723,353円	▲95,837円
達成率	87.1%	88.2%	▲1.1%

(2) 赤十字義援金および緊急物資の取り扱いと配布

(3) 赤十字救急法講習会の開催

開催日：平成26年7月26日・27日・8月1日

受講者：16名

指導者：日赤救急法指導員

(4) 災害時炊き出し訓練の実施

開催日：平成26年9月29日

参加者：日赤奉仕団尾鷲地区

（尾鷲市連合婦人会）60名



11. 福祉団体活動支援

(1) 尾鷲市身体障がい者互助会への支援

当事者団体である身体障害者互助会の事務及び活動支援を行った。

12. 貸館業務等の実施

(1) 尾鷲市福祉保健センター 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用回数	225	233	242	241	236	262
利用者数	3,360	4,080	4,140	3,849	4,551	4,738

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
274	244	240	239	296	311	3,043	
4,533	4,429	7,869	4,031	5,700	5,512	56,792	

（前年度） 利用回数（延べ）2,685回 利用者数（延べ）51,274人

(2) 車椅子および備品の貸出

自宅で一時的に車椅子の必要な方への車椅子の貸出しを行った。また、福祉保健活動を始めとする市民活動者への支援として機材の貸出しを行った。

13. 各種大会の実施および広報活動の実施

(1) 第 26 回尾鷲市社会福祉大会の開催

尾鷲市の福祉に貢献した方を顕彰するとともに福祉の啓発を行った。

開催日：平成 26 年 12 月 6 日

場 所：尾鷲市中央公民館

参加者：約 150 名

【第一部：顕彰】

① 尾鷲市長表彰

- ・ 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 3 名
- ・ 社会福祉活動優良地区および団体 4 団体

② 尾鷲市社会福祉協議会長表彰

- ・ 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 11 名
- ・ 社会福祉活動優良地区および団体 3 団体

【第二部：福祉作品コンクール表彰及び実践報告】

作文 奨励賞 3 名

標語 金賞・銀賞・銅賞・奨励賞 2 名

絵画 金賞・銀賞

実践報告①「障がい者が参加する避難訓練と地域のつながり」
社会福祉法人尾鷲市社会福祉協議会 東眞理子

実践報告②「制度が新しくなっても大丈夫。長茂会の取組み」
社会福祉法人長茂会 世古修路

(2) 尾鷲市ふれあいスポレク祭 2014 の開催

スポーツ、レクレーションを通じて、地域の障がい者の健康増進、市民の障がいに対する理解を深め地域交流に取り組んだ。

開催日：平成 26 年 10 月 26 日

場 所：東紀州くろしお学園おわせ分校体育館

参加者：約 350 名

内 容：各種目の実施、模擬店・販売

参加団体：障がい者支援施設・作業所、ボランティア団体、福祉協力校、尾鷲市連合婦人会、民生委員児童委員協議会

(3) 広報啓発活動の実施（市広報や新聞を通じた広報活動）

社協だよりの発行（年4回、各11,500部発行）を始め、地元新聞やケーブルテレビ等に積極的に広報活動を行った。

14. 地域福祉権利擁護事業の受託実施

判断能力が不十分な為、日常生活に困っている方に対して、自立した地域生活が安心して送れるように、地域包括支援センター、障がい者総合相談支援センター及び関係機関と連携を取り、積極的な対応を心掛けた。

利用者との信頼関係の構築を継続し、安心できる適切な金銭管理・書類預かりサービスを実施した。

平成26年度実績

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
相談件数	198	254	740	5	1,197	519
新規契約	5	1	0	0	6	4
解約件数	4	1	1	0	6	4

利用者数

単位：人

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
契約件数	4	17	8	6	35	35

15. 成年後見人制度における利用者支援事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどが原因で判断能力が十分でない方が、不利益を被らないように、家庭裁判所に申立をして、生活援助などの後見業務を行った。

【制度の利用に関する相談】3件

受任件数

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
新規受任件数	0	0	0	0	0	0
既受任件数	1	0	0	0	1	1
終了件数	0	0	0	0	0	0
累計件数	1	0	0	0	1	1

II. 総合相談・支援部門

1. 地域包括支援センター

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援

① 総合相談窓口の設置

相談内容に応じたサービスや制度の利用支援・情報提供及び関係機関等の紹介等対応を行なった。

相談受付件数：平成 26 年度 519 件 前年度 451 件 相談区分集計〈延べ件数〉

内 訳	介護・日常生活	サービス利用	医療	所得	その他	苦情	権利擁護	合計
件数	373	100	23	4	15	1	3	519

② 地域包括支援センターの周知・啓発

「社協だより」への掲載 平成 26 年度 4 回 前年度 4 回

「包括だより」の発行 平成 26 年度 4 回 前年度 4 回

③ 地域ケア会議の運営

他職種共同による個別ケースの支援を通じた（ア）地域支援ネットワークの構築（イ）地域の自立支援に資するケアマネジメントの支援（ウ）地域の課題の把握などを行った 〈平成 26 年度 12 件〉

(2) 権利擁護業務

① 高齢者虐待への対応・防止

(ア) 高齢者虐待相談窓口の設置

尾鷲市福祉保健課と協働で高齢者虐待についての相談窓口を設置し相談の対応を行った。

(イ) 高齢者虐待相談の受理

平成 26 年度受理件数 4 件（うち認定 1 件） 前年度 2 件

内 訳	身体的	心理的	経済的	性的	介護放棄
人数	1	0	0	0	0

② 認知症高齢者への支援

(ア) 認知症サポーター養成講座

平成 26 年度 79 名 前年度 109 名

	開催月日	参加人数	場 所
第1回	6月19日	8名	尾鷲高校・家庭看護教室
第2回	6月20日	45名	尾鷲市福祉保健センター
第3回	7月25日	12名	尾鷲市福祉保健センター
第4回	8月5日	18名	輪内高齢者サービスセンター



(イ) 認知症地域勉強会

開催月日 : 平成27年3月7日(土)

参加人数 : 51名

場所 : 賀田コミュニティーセンター

講師 : 九鬼診療所 田中公人医師

事業所紹介: グループホームしあわせ 倉本 たえ氏

介護サービス海岸通り 岩本 俱子氏



(ウ) 見守りネットワークの構築

徘徊の恐れのある認知症高齢者を地域で支えるため、認知症高齢者の情報や対応方法を記載した「見守りお願いシート」を作成し、近隣や商店等に配布し個別の見守り体制を築く。

(エ) 関係機関との連携

徘徊や迷子になる恐れのある認知症高齢者の情報を「認知症高齢者見守り連絡票」に記載し、尾鷲警察署に登録を行い、警察に保護されたあと速やかに自宅に戻せるよう支援する。

平成26年度2件 前年度2件

③ 福祉制度等の活用

(ア) 地域福祉権利擁護事業の活用

地域福祉権利擁護事業の利用調整（相談斡旋を含む）を行った。

(イ) 成年後見制度の活用

成年後見制度の利用援助（情報提供、申立支援、斡旋を含む）を行った。

(ウ) 出前講座の開催

平成 26 年度 6 件 前年度 5 回

開催日	内 容	参加人数	依頼先
6 月 25 日	介護予防と健康体操について	13 名	矢浜コミュニティセンター
10 月 16 日	感染症について	36 名	尾鷲市福祉保健センター
10 月 14 日	地域包括支援センターの役割について	40 名	尾鷲市中央公民館
11 月 7 日	感染症について	8 名	輪内高齢者サービスセンター
2 月 12 日	介護保険サービスについて	16 名	倉ノ谷集会所
3 月 27 日	介護保険サービスについて	12 名	北浦町会館
	合 計	125 名	

(3) 包括的、継続的ケアマネジメント支援

① 地域包括ケア会議の開催

尾鷲市から委嘱された委員により、介護予防・生活支援サービスや地域ケアの総合調整を推進するため、意見交換や検討等を行った。



	開催日	参加人数	内容
全体会議	8 月 21 日	18 名	委嘱状の交付 介護保険制度の法改正について 今年度の地域包括ケア会議の構成について
高齢者虐待早期発見ネットワーク会議・連絡調整会議	1 月 30 日	25 名	「地域包括ケアシステムの構築について」 「高齢者虐待の防止と対応」 講師：西村 健二氏
介護予防検討会議・生活支援サービス検討会議	2 月 24 日	13 名	地域資源の聞き取り及び検討内容の報告 意見交換

② ケアマネジャー支援

居宅介護支援事業所連絡会議において事例検討及び研修会を開催しケアマネジメント力を高める取り組みを行った。

居宅支援事業所連絡会議 (4回開催)

	開催日	参加人数	内 容
第1回	5月13日	21名	障がい者の支援について、意見交換
第2回	8月19日	29名	「身寄りのない高齢者の困りごと相談」 講師：黒 久恭司法書士
第3回	10月22日	尾鷲市分 25名	【尾鷲市・紀北町合同開催】 「対人援助のスキルアップ」 講師：植田 寿之氏
第4回	1月16日	15名	「認知症高齢者の困難事例検討会」 講師：泉 美幸氏



居宅介護支援事業所のケアマネジャーからの相談に対応した。
平成26年度 42件 前年度 58件

(4) 介護予防ケアマネジメント

介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行い、介護予防ケアプランの作成等必要な支援を行なった。

① 要支援1・2の介護予防支援

平成26年度 合計 2,773件 前年度 合計 2,389件

予防プラン作成および給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当センター	146	148	144	155	150	154
委託事業所	72	82	80	78	78	84
合計	218	230	224	233	228	238
認定者	441	447	444	445	449	460
(支援1)	250	251	251	253	257	269
(支援2)	191	196	193	192	192	191
利用率(%)	49	51	50	52	51	52

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当センター	165	160	153	151	157	148	1,831
委託事業所	81	81	78	78	76	74	942
合計	246	241	231	229	233	222	2,773
認定者	457	454	458	457	446	443	5,401
(支援1)	272	271	276	275	267	266	3,158
(支援2)	185	183	182	182	179	177	2,243
利用率(%)	54	53	50	50	52	50	51

② 二次予防事業対象者への介護予防支援

尾鷲市が実施した65歳以上の方への基本チェックリストにより二次予防事業の対象となり事業に参加を希望された方への事業内容の説明、健康相談等を実施し事業の利用支援を行った。

平成26年度 86件 前年度 77件

事業内容	参加人数	備考
通所介護予防事業（運動器、うつ・認知症・閉じこもり予防）	63名	運動器・閉じこもり予防 うつ予防の複合プログラム
訪問型介護予防事業	0名	パンフレットを用いた運動指導
電話のみでの情報提供	15名	通所型二次予防事業の紹介 生活昨日評価の説明
介護保険申請支援	8名	

2. 任意事業

(1) ケアプラン点検事業

紀北広域連合主催のケアプラン点検事業に主任介護支援専門員(2名)が2回参加した。

(2) 家族介護支援事業

要介護高齢者を介護する家族の精神負担の軽減と介護者同士の情報の交換を目的にした交流会の開催及び介護者及び介護職員を対象に介護技術についての研修会を開催した。

① 介護者の会の開催 平成26年度 64名 前年度 66名

	開催日	参加人数	内容
第1回	5月22日	7名	「認知症の理解と介護について」 講師：泉 美幸氏
第2回	7月17日	8名	電子レンジクッキング 講師：小川 幸子氏
第3回	9月18日	6名	おしゃべり会
第4回	11月26日	28名	介護方法（実技）講習会 ユマニテク福祉大学 伊藤 幾代氏
第5回	1月15日	10名	「認知症の理解と介護について」 講師：泉 美幸氏
第6回	3月19日	5名	おしゃべり会 ランチバイキングにて交流会



(福祉用具・住宅改修支援事業)

② 福祉用具の利用支援

福祉用具の利用についての助言や購入支援を行った。

福祉用具購入支援者 平成26年度 15名 前年度 21名

③ 住宅改修の利用支援

住宅改修に関する助言や理由書等の必要書類の作成

住宅改修利用支援 平成26年度 28名 前年度 42名

3. その他

(1) 研修会への参加

- 各専門職に対する研修会等

(2) 会議への参加

- 介護保険事業計画策定委員会
- 尾鷲市高齢者保健福祉計画策定委員会
- 地域包括支援センター運営協議会
- 三重県地域包括支援センター連絡会議
- 運営推進会議
 - 地域密着型小規模特別養護老人ホーム：2カ所
 - 認知症対応型共同生活介護：7カ所
- 養護老人ホーム入所判定委員会

(3) 定例ミーティングの実施（地域包括支援センター内での打合わせ）

- 新規相談ケースについての検討会
- 各自担当ケースについての報告・相談
- 各事業の進捗状況の確認及び調整

2. 紀北地域障がい者総合相談支援センター

1. 紀北圏域障がい者地域生活支援事業

(1) 相談支援事業

障がい者のライフステージに応じた地域生活を支援するために、福祉サービスの利用援助を身近な地域で行う。また、地域で安心できる生活を継続し、障がいの有無により分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会を実現するという総合支援法の理念に基づいた相談支援を行う。

平成 26 年度の相談者実数は 291 名で平成 25 年度より 54 名増加した。相談のべ件数では、訪問や関係機関との連携が大幅に増加した。平成 26 年度の事業計画の重点目標にあげたように、地域に出向いた相談支援を目指した結果といえる。また関係機関と連携して支援を行うケースが増えており相談支援の体制も強化されている。

支援内容については、福祉サービスの利用に関する支援が多い。また不安の解消や情緒安定に関する支援も多く、特に精神障がいの方については精神科病院や訪問看護、デイケア等のサービスが地域にないため支援センターでの電話相談が有効な支援方法の一つとなっている。平成 26 年度から障がい者就業生活支援事業を新規に受託し就労担当の相談員を配置したこともあり、就労に関する相談が増えた。働きたい希望がある障がい者の方が地域で多く生活している現状が分かった。

① 障がい区分別 年間相談者実数および登録者数 単位：人

	実人員	身体	重症 心身	知的	精神	発達	高次脳 機能	その他
尾鷲市	188	20	1	71	45	46	1	3
紀北町	103	9	2	39	32	20	1	1
	291	29	3	110	77	66	2	4

② 支援方法別 相談延べ件数 単位：件

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	関係 機関	個別支 援会議	その他	計
尾鷲市	614	499	39	587	15	639	150	38	2,581
紀北町	507	244	44	684	30	266	69	7	1,851
	1,121	743	83	1,271	45	905	219	45	4,432

③ 支援内容（延べ件数）

単位：件

	のべ件数	尾鷲市	紀北町
福祉サービスの利用に関する支援	807	433	374
障害者症状の理解に関する支援	194	70	124
健康・医療に関する支援	279	144	135
不安の解消・情緒安定に関する支援	682	281	401
保育・教育に関する支援	172	116	56
家族関係・人間関係に関する支援	270	80	190
家計・経済に関する支援	127	44	83
生活技術に関する支援	61	30	31
就労に関する支援	754	329	425
社会参加・余暇活動に関する支援	567	359	208
権利擁護に関する支援	53	17	36
その他	450	263	187

(2) 紀北地域協議会の部会運営

平成 26 年度は当事者、家族参加型の 2 部会（くらし部会、相談部会）と専門部会 3 部会（就労部会、こころ部会、相談支援部会）の活動を行った。また 26 年度は第 3 期紀北地域障がい者福祉計画、第 4 期尾鷲市障がい福祉計画、第 4 期紀北町障がい福祉計画の策定年であり、部会活動を通して集約した地域課題や数値目標などを福祉計画策定委員会に提案し次期の福祉計画に反映してもらった。また、平成 20 年度から取り組んでいる防災については、避難訓練と炊き出し体験、地震体験車の訓練を 2 回実施した。圏域研修はヘルパースキルアップを目的として 2 回、就労関係の研修を 1 回開催した。

障害者権利条約批准や障害者差別禁止法が制定されるなか障がい者の人権、権利擁護、虐待防止に取り組むため高齢者虐待の地域ケア会議に参加、今後の活動について検討した。

平成 26 年度 紀北地域協議会部会活動

部会名	内 容	開催回数
合同部会	平成 26 年度の活動報告と反省。次年度の取り組み	1 回
くらし部会	テーマ「住みよい街作り」 街歩きマップの作成と、マップの利用方法について	部会 7 回・運営部会 7 回
相談部会	テーマ「途切れなき支援」について座談会等を開催した。ウィークエンドサークルの活動運営について。	部会 5 回・運営部会 5 回
就労部会	就労移行支援事業所について 就労代表者会議の立ち上げ 就労継続支援 B 型利用判定について	部会 4 回 運営部会 4 回 代表者会議 3 回・運営部会 3 回 利用判定会議 3 回
相談支援部会	計画相談のすすめ方について紀北ルール Q&A 作成	部会 2 回
こころ部会	地域移行、地域定着について 訪問看護について	部会 4 回・運営部会 4 回
全体運営部会	各部会の進捗状況の確認 本会への提案内容の検討	4 回

平成 26 年度 圏域研修

研修名	講 師	参加人数
ヘルパー実践講座 「実技の基本を確認し応用力を身につけよう」	ユマニテク医療福祉大学校 伊藤 幾代 氏	29 名
ヘルパー実践講座 「視覚障がい者の支援について」	NPO 法人 アイパートナー 寺田 真也 氏	15 名
就労移行支援事業所について学ぶ	東三河北部障害者就業・生活支援センター ウィル 渡辺 竜夫 氏	54 名



平成26年度 避難訓練

開催日・場所	内 容	参加人数
平成26年5月31日 紀北町役場	紀伊長島駅前から秋葉山に避難 紀北町役場で防災の話を聞き、 炊き出し体験	当事者 11名 支援者等 10名 ボランティア 10名
平成26年11月29日 県立尾鷲高校	地震体験車による揺れの体験 避難所となる尾鷲高校のトイレ 等の見学	当事者 32名 支援者 13名 ボランティア 4名



(3) ピアサポーター活動支援

今まで養成してきたピアサポーターが地域で暮らす障がい者に対して行う支援活動の体制づくりや助言を行う。平成26年度は紀伊長島で行うすずらんサロン（日中の居場所作り）を中心に活動。11回で96名の参加があった。

2. 就業生活支援事業

平成26年度から県の事業である障がい者就業生活支援事業を受託し就労担当の職員を配置した。また平成27年1月からは国の雇用安定化等事業である就業・生活支援センター事業も受託し、さらに職員を増やし障がい者の雇用や実習先の開拓に取り組んだ。一般就労7名、実習14名の実績があった。

就労登録者

単位：人

登録者数	新規	継続	合計
	13	83	96
内訳 身体障がい	4	4	8
知的障がい	1	53	54
精神障がい	7	23	30
その他	1	3	4

今年度の就労実績

単位：人

障がい種別 1週間の 勤務時間数	身体		知的		精神	その他	計
		重度		重度			
一般（30時間以上）	2				3		5
20時間以上 30時間未満					1		1
20時間未満	1						1
計	3				4		7
計のうち、福祉施設から一般就労への移行者（再掲）	1						1

相談支援件数（内容別）

単位：件

内 容	身体	知的	精神	その他	計
就職に向けた相談支援	33	124	213	13	383
職場定着の為の相談支援	16	46	55	0	117
日常生活に関する相談支援	2	98	33	0	133
就業と生活に関する相談支援	4	161	145	1	311
計	55	429	446	14	944

相談支援件数（手段別）

単位：件

センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	113
電話・ファックス・E-mail等	525
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	252
家庭・入所施設への訪問	15
その他（ハロワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等）※	39
計	944

3. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業

平成26年度で計画相談の経過措置が終了することから、利用者の方に不都合が生じないようにサービス等利用計画の作成を行った。

平成26年度は新規計画相談94件 モニタリング232件の作成を行った。
（前年度 新規計画相談64件 モニタリング168件）

4. 社会参加促進事業

(1) 音楽教室

尾鷲市福祉保健センターで開催。「癒やしの会」主催で音楽療法士福田先生に依頼して実施。

開催 12 回 延べ参加人数 171 名（尾鷲市 113 名 紀北町 58 名）

(2) フラワーアレンジメント教室

尾鷲市福祉保健センターで開催。

開催 12 回 延べ参加人数 173 名（尾鷲市 120 名 紀北町 53 名）

(3) 歩行訓練

生活訓練が必要な視覚障がい者に対して歩行訓練やパソコン・点字の指導を行う。

開催 12 回 延べ参加人数 23 名

(4) ウィークエンドサークル

休日の日中活動の場として実施。尾鷲市福祉保健センターを中心に行う。

開催 7 回 延べ参加人数 95 名（尾鷲市 60 名 紀北町 35 名）

(5) おもちゃ図書館

障がい児等の遊び場の提供や交流の場として実施。

おもちゃの貸出も行う。開催 12 回

(6) はあと畑

毎週月曜日、会員の昼食を作り、尾鷲市福祉保健センター1階ロビーを利用し、障がいのあるメンバーが接客を行いながら就労体験をする。

延べ参加人数 72 名（尾鷲市 34 名 紀北町 38 名）

(7) はあとの会

親子で療育活動を行う会のサポートを行う。

開催 8 回 延べ参加人数 62 名（尾鷲市 30 名 紀北町 32 名）

(8) その他

尾鷲市、紀北町のスポーツ大会、紀北町の地域交流会、くろしお学園運動会、学習発表会等に参加した。

5. 日中一時支援事業

学校の夏休み、冬休み、春休みにおいて家庭外の居場所が必要な障がい児に対して日中一時サービスとして預かり保育を行った。

延べ人数 13 名（実人数 尾鷲市 2 名）

6. 障がい児等療育相談支援事業

(1) 療育相談

療育の専門相談機関としての役割を持ち、地域で暮らす障がい児や家族の相談支援を行うとともに、講師を招き動作法体験研修を開催した。今後は地域の療育支援のひとつのスキルとして定着できるように継続していく。

相談支援の内容

単位：件

活動内容	延べ件数	実人数
電話	54	32
来所	31	13
訪問	42	16
ケア会議	55	36
助言・利用調整	64	9
重度心身障害児者相談支援	6	1
保育所・教育機関からの相談・療育指導等	48	16
医療機関からの相談・療育指導等	62	25
企業・事業所からの相談・療育指導等	7	3
福祉施設からの相談・療育指導	2	1
合計	371	152

(2) 療育指導（すまいる教室）

親子参加を基本とし保護者の孤立を防ぎ相談や交流の機会とする療育教室（すまいる教室）を開催し、障がい児や発達の子どもの小グループによる療育指導を行った。社会資源が少ない地域の障がい児に専門職による専門療育の機会の提供として言語療法士による指導を月2回、「風の広場」による専門療育指導（言語療法士）を年4回行った。

参加状況

単位：人

	実人数（昨年度）		延べ人数（昨年度）	
尾鷲市	36	(21)	645	(537)
紀北町	8	(6)	75	(86)
合計	44	(27)	720	(618)



(3) 発達障がい児等の早期発見システムへの参加

尾鷲市の保健・福祉・教育の担当者からなる「チームおわせ」に参加し、保育所、幼稚園の巡回相談を行い個別支援計画の作成につなげた。

保育所・幼稚園 8 箇所 延べ 13 回巡回した。その他、毎月の乳幼児健診委員会に参加し支援対象児の把握、草の実健診への協力、特別支援学級担任、介助員の研修指導も行い紀北地域における、とぎれない支援の態勢づくりと関係機関との連携強化に努めている。

III. 介護サービス部門

1. 居宅介護支援事業所

介護保険の指定居宅介護支援事業所として、居宅での介護サービスやその他の福祉サービス、保健医療サービスが適切に利用できるよう、利用者自身の立場でその有する能力に応じて、自立した生活を送るための公正中立な支援を行った。

1. 業務内容

- 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- 介護保険要介護・要支援認定申請代行
- 利用者、サービス事業者との連絡調整
- 介護に関する相談・助言
- 介護保険外の福祉サービスや福祉制度の利用援助
- 介護保険施設への紹介
- 国保連への給付管理及び介護報酬の請求（訪問介護・訪問入浴・通所介護）
- 介護保険要介護認定調査（委託）
- その他の苦情や問い合わせ



2. 住宅改修支援事業請求実績

事業名	平成26年度	前年度
住宅改修支援事業	1名	1名

3. 居宅依頼実績

増減数	平成26年度	前年度
居宅新規	66名	87名
居宅終了	62名	57名
※内訳（死亡）	32名	28名
（入所）	23名	24名
（移動）	7名	5名
予防給付 新規	6名	3名

4. 月別請求額

◇居宅介護

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	175	173	175	177	179	176
収入額	2,554,760	2,550,640	2,566,250	2,589,330	2,633,960	2,580,800

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
175	172	170	172	167	172	2,083
2,554,240	2,525,620	2,523,560	2,539,160	2,457,390	2,534,660	30,610,370

(前年度) 利用者人数(延べ) 2,194名 収入額 32,351千円

◇介護予防

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	13	14	13	13	12	11
収入額	53,556	60,196	53,556	53,556	51,916	47,776

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	13	13	13	13	13	154
56,056	53,556	56,320	56,320	53,820	53,820	650,448

(前年度) 利用者人数(延べ) 180名 収入額 767千円

5. ケアマネジメントの質の向上を図る

(1) 週1回 居宅事務所内でのミーティング実施

- ・ サービス提供にあたっての留意事項
- ・ 困難事例ケース検討等

(2) 居宅介護支援連絡会や外部研修会への参加



2. 訪問介護事業所

「いつまでも自宅で過ごしたい」との思いに応えられるよう、ホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活上必要な支援を行った。ヘルパー応援教室等多くの研修を開催し、ヘルパーのレベルアップに努めた。また、介護事業所マークの作成や病院等案内一覧の新聞チラシ折込み等介護事業所全体でPR活動を行った。



1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業 (介護保険)

介護等が必要な方を対象に、自宅をホームヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供した。昨年度に引き続き、初回の認定が軽度の介護度では社協を選択してくれる利用者が増えたが、重度になるにつれ施設を持たない社協への新規依頼は減少傾向であった。

(1) サービス内容

- 身体介護：食事介助、入浴介助、排泄介助、体位変換、通院介助、その他身体介護
- 生活援助：調理、洗濯、買物、掃除、その他の家事援助
- 身体介護と生活援助の組み合わせ
- 通院等のための乗車または降車の介助

◇訪問介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	94	92	95	91	96	97
収入額	3,600,810	3,456,820	3,678,800	3,707,800	3,569,310	3,357,330

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
87	98	89	89	85	88	1,101
3,444,650	3,386,050	3,270,170	3,180,530	2,987,760	3,863,160	41,503,190

(前年度) 利用者人数(延べ) 1,239名 収入額 47,002千円

◇介護予防訪問介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	25	26	25	26	27	28
収入額	394,320	406,580	392,320	431,100	433,100	445,360
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29	27	26	25	29	27	320
443,360	416,840	394,320	394,320	475,080	420,840	5,047,540

(前年度) 利用者人数(延べ) 240名 収入額 4,070千円

2. 障害者総合支援事業

(1) 障害福祉サービス

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供では、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援の各事業を実施した。相談支援センターの計画作成が充実していく中で、適性利用時間の増加と新規利用者があり、件数、収入とも増加した。

◇月別単位数（実績月）

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	23	32	29	31	30	32
収入額	952,430	851,780	898,720	925,520	839,720	924,770
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
34	37	39	36	36	32	391
1,005,790	1,080,230	1,124,530	1,069,680	948,560	1,034,830	11,656,560

(前年度) 利用者人数(延べ) 362名 収入額 10,774千円



(自宅で足浴)



(通院介助の様子)

3. 生活支援サービス「あんしん」(保険外サービス) と一般乗用旅客事業

訪問系サービスの介護保険外事業の一環として、生活支援サービス「あんしん」と一般乗用旅客事業として、ケアプランに連動した輸送と介護保険外の輸送を実施している。

◇あんしん月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	16	11	11	11	10	11
収入額	58,400	34,000	27,500	39,050	28,275	37,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	15	19	16	21	17	174
58,675	30,500	58,800	55,900	65,200	52,300	545,600

(前年度) 利用者人数(延べ) 203名 収入額 561千円

◇運行利用料月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	100	88	93	91	90	92
収入額	180,280	115,470	145,990	132,490	132,520	144,970

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
85	96	94	93	99	91	1,112
173,040	157,930	185,380	208,220	186,890	205,520	1,968,700

(前年度) 利用者人数(延べ) 1,156名 収入額 1,881千円

4. 研修会等参加状況

単位：名

研修名	参加人数
ヘルパー応援 認知症サポーター養成講座（第1回）	22
ヘルパー応援 // （第2回）	8
ヘルパー応援 // （第3回）	2
ヘルパー応援 ゆる体操	12
ヘルパー応援 DVD研修「NHK スペシャル認知症」	7
ヘルパー応援 感染症のおはなし	28
ヘルパー応援 DVD研修「NHK 自閉症」	9
認知症の早期診断・早期対応のための多職種連携研修	2
アルコールと健康研修会	1
介護方法講習会（実習）	10
福祉有償運送運転者初任者講習	1
介護技術研修	17
介護技術指導者研修①	5
// ②	6
// ③	5
// ④	5
視覚障がい者に対する支援研修	6



（ヘルパー応援 ゆる体操）



（ヘルパー応援 感染症のおはなし）

3. 訪問入浴事業所

1. 訪問入浴・介護予防訪問入浴

介護保険の指定訪問入浴事業所として、看護職員や介護職員、オペレーターによって主治医の注意事項を守りながら、利用者の身体状況に応じた安全で快適な入浴サービスを提供した。年間を通して新規利用者の申し込みが少なく、比例して利用者も減少しているため、前年度に比べ延べ利用人数、収入ともに10%～12%減少している。要因は、利用者の施設入所や死亡によるところが大きい。

① サービス内容

- ・ 血圧測定等の健康チェック・衣類着脱介助
- ・ 浴槽への移動介助 ・ 入浴介助

メリット

- 身体的負担が少ない
- 徹底した衛生管理
- 1チーム3名体制での手厚い介護
- 期待できるリハビリ効果



◇訪問入浴介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	14	13	15	14	15	14
収入額	848,540	751,590	747,810	890,080	793,140	945,500

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	13	13	11	13	14	162
955,570	760,430	745,310	709,430	789,370	842,250	9,779,020

(前年度) 利用者人数(延べ) 192名 収入額 10,732千円

4. 輪内通所介護事業所

要支援・要介護状態となった場合でも、自立した日常生活を送ることができるよう、障がい者も含めて日常生活上の世話や機能訓練を行うとともに、引きこもり予防や社会参加および介護をしている家族の負担軽減を図るために通所介護を実施した。



1. 通所介護・介護予防通所介護事業 (介護保険)

《サービス内容》

- ① 入浴サービス (特別機械浴、一人浴、一般浴)
- ② 送迎サービス
- ③ 生活指導 ・ 健康チェック ・ レクリエーション ・ 創作活動
・ 運動器機能向上(個別機能訓練)サービス
- ④ 食事の提供

月別実績

◇通所介護

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	26	27	28	25	26	26
収入額	1,567,780	2,056,690	1,900,410	2,073,760	1,979,640	2,325,040
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	26	26	27	26	23	313
2,205,910	2,028,070	2,053,770	2,006,900	2,019,750	2,089,910	24,307,630

◇介護予防通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	6	5	5	7	6	9
収入額	191,940	124,200	124,200	195,330	149,040	266,460
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	8	7	7	7	7	83
266,460	241,620	216,780	195,330	195,330	195,330	2,362,020

障害者通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	4	5	5	6	5	5
請求金額	305,760	298,480	182,000	232,960	262,080	254,800
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	7	9	9	8	6	75
305,760	291,200	349,440	313,040	203,840	196,560	3,195,920

(前年度)	利用者人数(延べ)	収入額
	通所介護	365名 23,097千円
	介護予防通所介護	119名 3,768千円
	障がい者通所介護	29名 2,122千円

2. 一次予防・二次予防の実施

尾鷲市から委託を受けて一次予防（にこにこ）として、市内在住で65歳以上の高齢者向けの介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し介護予防を実施し普及啓発に努めた。

二次予防（元気応援教室）として、要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けの要介護にならないことを目的とした通所型介護予防事業（運動器機能向上・うつ・閉じこもり・認知症予防を目的）の委託を受け、介護予防の実施および普及啓発に努めた。

一次予防 単位：回・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数	9	7	7	7	7	7
収入額	200,000	200,000	200,000	200,000	175,000	175,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	13	13	12	16	16	127
250,000	200,000	200,000	100,000	200,000	200,000	2,300,000

二次予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数				4	4	4
収入額				120,000	120,000	120,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	3	3	3	3	3	30
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	1,080,000

(前年度)	利用者人数(延べ)	収入額
一次予防	63名	1,575千円
二次予防	22名	660千円

三重県デイサービス協議会に加入し、各種研修に参加してサービスと職員の質の向上に努め、自宅での生活の延長として要支援・要介護者を対象にデイサービスを提供した。通所介護・介護予防通所介護ともに利用者、収入ともに減少した。

5. 尾鷲通所介護事業所（デイサービスいきいき）

1. 通所介護・介護予防通所介護事業（介護保険）

(1) 通所介護・介護予防通所介護

介護に頼らない自立した生活を目指し、運動器の機能向上ための事業を実施。器具を使った運動、器具を使わない運動など積極的に取り組んだ。研修会（デイサービス協議会）に参加すること等により事業所全体の質の向上に取り組んだ。

① サービス内容

〈共通サービス〉

- 身体の介護・支援に関すること（排泄、移動など）
- 生きがい生活支援（レクリエーションなど）
- 送迎サービス
- 日常生活における相談・助言

〈選択的サービス〉

- 入浴サービス（通所介護）
- 個別機能訓練サービス（通所介護）
- 運動器機能向上サービス（介護予防通所介護）

◇通所介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	13	15	16	16	16	15
収入額	529,340	666,440	639,040	667,870	606,110	637,690

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	16	14	15	15	17	183
597,250	580,590	500,240	518,790	572,240	704,090	7,219,690

（前年度） 利用者人数(延べ) 146名 収入額 4,933千円

◇介護予防通所介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	13	14	17	18	13	17
収入額	338,580	391,230	461,430	548,640	431,400	525,060

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21	22	23	23	23	24	228
637,620	642,060	665,460	44,250	644,250	688,860	6,018,840

（前年度） 利用者人数(延べ) 210名 収入額 5,199千円

2. 一次予防・二次予防の実施

(1) 一次予防

尾鷲市から委託を受けて、市内在住で65才以上の人を対象に介護予防に対する啓発に努めるとともに、介護予防サービスを実施した。

(2) 二次予防

要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けのサービスや予防のための運動器機能向上に努めた。

単位：件・円

一次予防	8	9	9	8	9	9
	200,000	225,000	225,000	200,000	225,000	225,000
二次予防	5	4	4	5	4	5
	151,800	121,500	121,200	153,300	121,200	150,600

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	8	8	12	12	14	113
175,000	200,000	200,000	300,000	300,000	350,000	2,825,000
9	8	8	4	4	5	65
272,200	241,200	243,200	120,800	121,200	150,800	1,969,000

(前年度)	開催数	収入額
一次予防	63回	1,575千円
二次予防	58回	1,575千円

(3) 新年交流会の開催

日時：平成27年1月24日

参加人数：いきいき利用者 78名

(要介護者、要支援者、一次予防・二次予防利用者ほか)

(4) 防災訓練の実施

日時：平成27年3月17日から 7回実施

内容：利用者の避難誘導及び避難経路の確認（尾鷲市福祉保健センター）

IV. 輪内高齢者サービスセンター

1. 輪内高齢者サービスセンター

1. 社会福祉協議会の分室機能

輪内地区の福祉の向上を図るため、次のような事業を行った。

(1) 社協業務の受付窓口としての機能

- ① 福祉相談窓口業務として相談を受け、市や介護保険関係事業所との連携を図った。
- ② 輪内地区における募金事業の窓口として事業を推進した。

5月 日赤募金 10月 共同募金

(2) 台風接近により高齢者サービスセンターを避難所として開設した。

台風接近により避難所開設回数 4回 避難者無し

(3) 施設の適正な管理・運営に努めた。

2. 輪内地区食の自立支援事業（市補助事業）

生活支援型配食サービスとして、週3回（火、木、土）、「食事を作ることが困難な高齢者」を対象に、食事内容の検討及び調理を行い各家庭へ配食した。

対象地区	輪内地域 (梶賀、曾根、賀田、古江、三木里、三木浦)
登録者数	28名
延べ配食数	4,497食
事業費	2,722,100円
(うち市補助分)	(923,300円)

地区別登録者内訳

(梶賀1、曾根5、賀田9、古江9、三木里2、三木浦2)

3. 輪内地区あったか弁当事業（自主事業）

平成21年度から、食事を作ることが困難で、市の配食サービスの対象とならない住民に対して自主事業としての配食サービスを実施した。梶賀町で年間190食の配食を行った。

